

週間漁海況情報—第14号

平成25年4月8日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

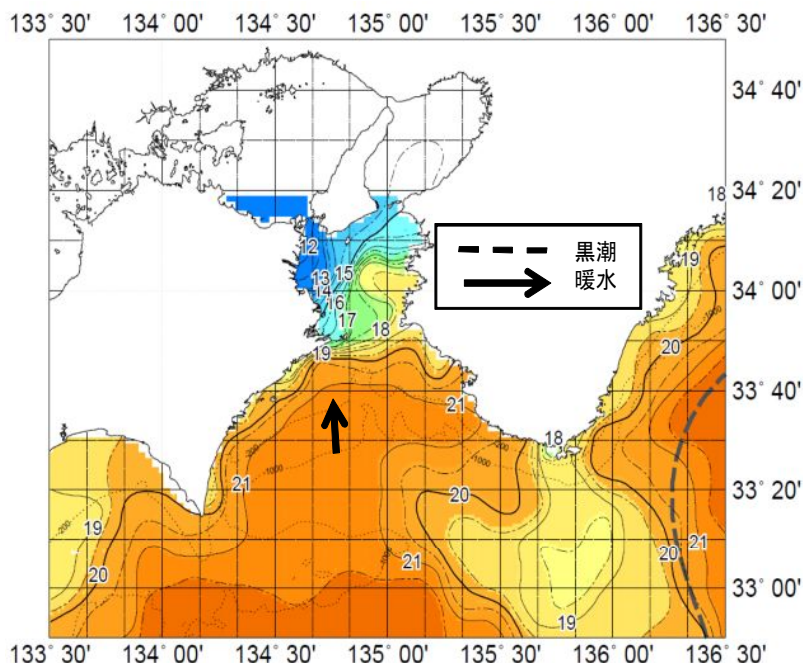
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

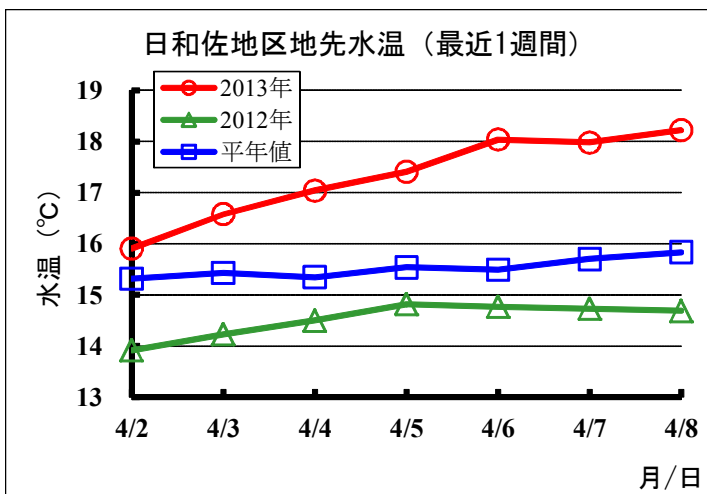
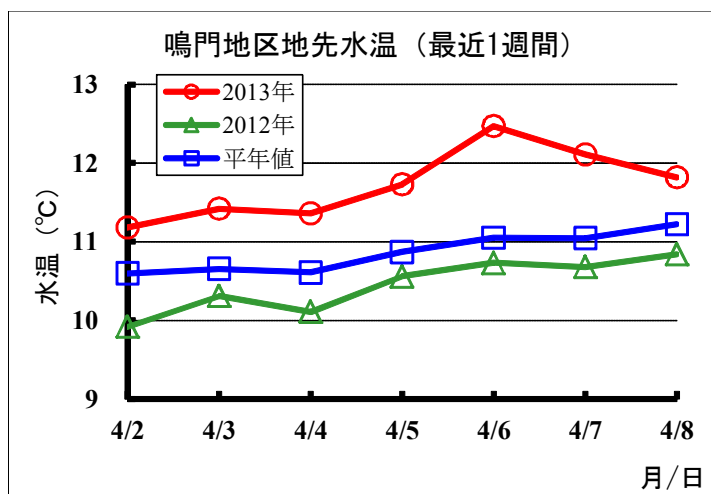
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.4.8）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11～12℃台、紀伊水道12～18℃台、海部沿岸で18～21℃台である。紀伊水道沖で黒潮が小さく蛇行している。紀伊水道外域には、21℃台の暖水が広く流入している。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の11.2～12.5℃、日和佐地区は「やや高め」～「かなり高め」の15.9～18.2℃、牟岐地区は「かなり高め」の19.3～20.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.2トン（1日1隻あたり10kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが2.0トン（同62kg）、カタクチイワシが1.7トン（同45kg）、キビナゴが1.7トン（同110kg）、マルソウダが1.0トン（同44kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にマアジが0.8トン（同159kg）、小小主体にマサバが1.3トン（同252kg）、カタクチイワシ主体にイワシ類が1.7トン（同341kg）、中主体にヒラマサが0.3トン（同59kg）、メジロが0.2トン（同44kg）、ハマチが1.6トン（同314kg）マルソウダが0.2トン（同47kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが9.2トン（同95kg）、特大主体にヨコワが0.8トン（同20kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、サヨリ類が0.6トン（同50kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月1日～4月7日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	21	218	10	大主体
小型定置網		マアジ	33	2,046	62	マメ主体
		カタクチイワシ	39	1,749	45	
		キビナゴ	15	1,656	110	
		マルソウダ	23	1,014	44	
大型定置網		マアジ	5	794	159	大主体
		マサバ	5	1,259	252	小小主体
		イワシ類	5	1,705	341	カタクチイワシ主体
		ヒラマサ	5	297	59	中主体
		メジロ	5	221	44	
		ハマチ	5	1,572	314	
		マルソウダ	5	233	47	
		釣り	カツオ	97	9,179	95
ヨコワ			39	764	20	特大主体
パッチ網	紀伊水道	サヨリ類	11	550	50	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の4月2日～4月8日には、海部沿岸では、建網で、ブリが1.3トン、小型定置網で、小小主体にマサバが7.4トン、大型定置網で、ブリが10.2トン、メジロが1.2トン、小小主体にマサバが4.6トン、中・小主体にマダイが1.0トン、中主体にクロダイが0.2トン、釣りで、中主体にカツオが2.0トン、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の11～12℃台、日和佐地先で「高め」～「かなり高め」の17～19℃台で推移する見込み。